

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調書

4-IV-9

4-IV-9

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	学習教材の開発
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	9 学習教材開発	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市学校教育課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内小・中学校等に対し、佐渡金銀山についての正しい知識の普及を図り、地域の誇りと郷土愛の醸成を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内小・中学校等の学齢に合わせた副読本等を開発(現行の副読本の更新・見直し)し、その活用を図る。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ SDGsの理念をふまえた内容となるよう、令和4年度末までに副読本の改訂作業を完了させる。</li> </ul>		
これまでの取組実績	<p>現行の副読本の記載内容を精査するとともに、小・中学校での活用方法について検討を行った。</p>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現行の副読本の記載内容を精査(情報更新・内容充実)するとともに、小・中学校での活用方法について検討する。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現行の副読本の記載内容を精査(情報更新・内容充実)するとともに、小・中学校での活用方法について関係課と協議を行った。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 推薦書の内容と整合性を図る必要がある。</li> <li>■ 小・中学生が理解しやすい内容とする必要がある。</li> <li>■ 紙媒体ではなく、電子化する必要がある。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 副読本の改訂に向けた関係者との協議を継続し、SDGsの理念に基づく副読本開発を行い、電子化等を含め、学校のニーズに合わせた教材への見直しを図り、令和5年度末までに改定後の副読本を発行する</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画通りに進んでおり、一定程度の成果が得られていることから、B評価とした。</p> <p>{ A・<b>B</b>・C }</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。